

## 麻生区区民会議 第6回企画部会 議事要旨

1 開催日時：平成25年2月4日（月）午後7時00分～午後9時00分

2 開催場所：麻生区役所第4会議室

3 出席者：[企画部会委員]

金光部会長、田中副部会長、石井委員、菅原委員、村主委員、東川委員  
高倉委員（※オブザーバー）

[事務局]

安生企画課長、白石担当係長、藤江

4 傍聴者 1名

5 議事

(1) 区民会議ニュース第4期 Vol.2の発行について

### 【決定事項】

・発行形式について

⇒A4色紙・表裏・白黒

表面：ニューストップピックス：第2号は「安全・安心のまちづくり部会」、第3号は「若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会」の記事を掲載

裏面：第3回全体会議と専門部会の進捗状況、ニューストップピックス等への意見募集

・作成までの流れ

⇒記事の原案（たたき台）は、表面 [村主委員、高倉委員]、裏面 [田中副部会長] が作成し、3月4日までに各委員と事務局あてにメール送信。修正意見を出し合って第7回企画部会で原稿確定。

印刷・発送準備は3月19日午前9時半～金光部会長、田中副部会長が作業。区役所浄書室。

(2) 専門部会の検討経過報告について

1) 安全安心のまちづくり部会

【説明事項】村主部会長より、資料2、資料5（の中の資料1-1、1-2）をもとに審議経過と全体会議の報告について説明。主な内容は以下のとおり。

- ・マンション取り組み事例の紹介や大地震の映像を放映し意識の共有を図った。
- ・「大地震から助かる命を守る」ための具体策検討シートを精査し、取り組む項目について意見交換をした。
- ・大地震が起きたときの想定死者数を40人とし、これを0人にするために取り組む3つの最優先テーマ（家屋の倒壊防止、家具の転倒防止、火災予防・火事発生への対応）と2つの優先テーマを設定した。
- ・1月31日までに、整理後の具体策検討シートについての意見と今後の具体的活

動内容について提出してもらうこととなった。

#### 【主な意見】

- ・震度7以上では窓ガラスがいっせいに割れて足を怪我するケースが想定される。特に夜間、子供がいる家庭では親が子供を守ることに夢中になって怪我をする。また、小学校では、靴底が薄い上履きはガラスが貫通して怪我をするケースも考えられ、子供の安全を守るために外履きに変えるなども自助・共助の中に盛り込む必要があるのでは。
- ・震災時には怪我をしても病院が開いていない医師がいないといったことも想定されるので、自治会の中に医療関係者がいないか確認しておくことが共助の中で考えられる。
- ・自主防災組織は実態としては機能していない面がある。町会のクラブ活動団体などを活用したほうが協力を求めるなどするとうまくいくのではないかと。  
⇒活発な組織もあるようなので、ヒアリングして、学べる場所は他の団体にも伝えられればと考えている。
- ・行政は落ちこぼれをださないように一番下を拾い上げて施策を実施しなければならないが、区民会議は取り組みが活発なモデルとなる町内会、グループ、マンション等を探して、耐震診断や防災訓練等に取り組んでもらい、モデルケースとして他の団体等に広げていく。

#### ～安全・安心部会活動の広報の件～

【説明事項】 田中副部長より、資料3について説明。「災害時要援護者支援について考える懇談会」において、部会でも事例紹介した「中規模マンションの大地震対応事例」を紹介する際に、区民会議の認知度向上及び安全・安心部会の取り組みのPRのために、区民会議委員として説明したい。

#### 【決定事項】

- ・区民会議委員の立場で説明することについて了承された。安全・安心部会で紹介をした事例という説明とし、部会で取り組んでいるという誤解を与えないように説明する。

#### 【主な意見】

- ・障害者の当事者・関係者にとって関心の深いテーマの話しであり、区民会議の宣伝としても効果的といえるので、実施してよいのではないかと。
- ・安全・安心部会で取り組んでいる事例であるという誤解は与えないように慎重に説明してほしい。
- ・まちづくり学校に集まる人たちは防災への関心が高く、区民会議についても理解のある人が多いので、広報の効果も高いのではないかと。

#### 2) 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会

【説明事項】 石井部長より、審議経過と全体会議の報告について説明。主な内容は以下のとおり。

「芸術・文化のまちづくりについて」

・前回の部会ではアンケート結果について報告し、次回に地域活性化ビジョン策定委員会作成の報告書「しんゆり・芸術のまちづくりにより地域活性化に向けて」  
「課題」を報告する事になり、関連部分を含め報告。その部分に関して、抜粋資料に基づき、課題や提案の概要等を説明。今後の方向性は、第3期区民会議の提言を受けての麻生区役所として行政の取り組み状況の報告を受けて、今後の取組に関して問題点を整理して決定することとした。

「子育てしやすい環境づくりについて」

・既存調査結果と統計を集約した基礎データ資料に基づき審議を行った。結果としては川崎市内全体の結果と麻生区内の結果が他の区との違いが見られなかったことから、独自にアンケート調査を実施することとした。丁度、2月2日に麻生区役所の子供支援室主催の「子どもと一緒にコンサート」が開催されるので、その協力を得て試行的に子育て世代を対象に麻生区の子育て状況に絞ってアンケートを実施することとした。各委員からの提案を集約し麻生区の特徴が出るような調査項目で作成したアンケートとした。今後は、このアンケート結果を検討して、対象を広げてヒアリング及びアンケートを実施することも検討する事とした。  
(尚、このアンケート結果は、来場者275名92世帯中、71枚回収。未集計)

#### 【主な意見】

- ・ライフステージによってまちの好みは変わり、住んでよかったまちと住みたいまちも異なる中、いろいろな考えを持った人たちの求めるものを1つに集約してまとめるのは難しい。
- ・子育て世代は家計面を考えると生活が厳しい世代であることから、役所の補助体制、NPO団体の支援など、自治体の取り組み状況について調査する必要がある。
- ・「若者が住みたくなるまち」と「芸術・文化のまち」とはどのようにリンクするのか。関係がわかりにくい。  
→それぞれの課題自体は、もともとリンクしていない。芸術・文化のまちづくりについては第三期から議論してきたが、第三期の提言に対する行政（区役所）からの取組を受けて検討する事としており、それを受けて部会として、さらにどう掘り下げるかというところで、今後は、「若者が住みたくなる魅力ある芸術・文化のまちづくり」という切り口で今後議論していくことも検討している。若い人たちが集まるイベント、発表する場の提供などの意見が出ている。
- ・横浜市では、東北の保育士を呼び込んで待機児童ゼロを達成したなどと広報されていたが、同様に戦略的な打ち出し方が必要では。
- ・アンケート調査等のデータ収集に汲々となりすぎないようにしたほうがよい。
- ・芸術と文化の概念は必ずしも一致しない。
- ・しんゆりと言えば「〇〇〇」とはつきり認識できるものがあつたほうがよい。麻生区の芸術・文化とは何なのか、認知させるためには絞込みが必要。例えば「しんゆりといえば落語」など。ただし、民主的議論ではなかなか絞り混めない。
- ・イベント型の芸術をメインとするか、芸術の卵を集めて教育していくスタイルに

するか。麻生区に来れば音楽に関して子どもの英才教育ができるというようなイメージ。

### 3) 第3回区民会議について

【説明事項】事務局より、資料5について説明。

#### 【決定事項】

- ・次第と提出資料については承認された。各専門部会の資料については、2月12日の各部会にて審議の上、確定する。
- ・企画部会の報告資料（資料3）について
  - ⇒（1）地域メディアへのアプローチの掲載実績の記事切り抜きを追加する。
  - （2）区民会議ニュースの裏面意見書様式は第2号以降掲載しないので、「事務局の連絡先を掲載して意見を求めていく」に修正する。
- ・会議終了後に懇親会を実施する。

### (3) その他

#### 1) 企画部会の在り方

##### 【決定事項】

- ・年数回しか開催されない全体会議では、各部会の全体的な審議状況の結果報告のみであり、自分が参加していない部会の報告に関して、その場で意見を表明することは難しい。また、各部会はそれぞれが別々の活動をしており、一体感がなかなか作れない。

その対策として、各部会の審議経過等の報告及び意見交換も行っている企画部会での審議内容を、今後は各部会に持ち帰って報告し、委員がお互いの部会の審議状況等を常に把握できるよう情報の共有を図るものとする。

#### 2) 区民会議に届いた意見（メール）について

【説明事項】事務局よりメールの内容について報告。

#### 3) 区民会議交流会について

【説明事項】事務局より当日の流れ等を説明。

#### 4) 次回企画部会について

日時：3月4日（月）19時～

場所：区役所第4会議室

以上